

大阪版健康・栄養調査について（案）

平成27年7月15日
大阪府健康づくり課

大阪の健康課題・要因

課題の根拠となるデータ・考え方

課題解決に向けた調査手法

生活習慣

●喫煙率が高い

- 習慣的に喫煙している者の割合は、減少傾向にはあるが、全国と比較すると喫煙率が高い。
- 男性は20歳代、女性は40～50歳代の割合が高い。

●運動習慣のある人の割合が減少傾向

- 歩数は全国平均よりも高いものの、減少傾向にある。
- 男女とも働き盛りの運動習慣のある者の割合が低い。

●塩分を目安量より、摂り過ぎている人が多い

- 食塩摂取量は、全国平均を下回るものの、男性、女性共に目安量よりは、大きく上回っている。
- 食塩摂取量の更なる減少を目指して、取組みの強化が必要。

●適正飲酒に向けた、過剰摂取者へのアプローチが必要

- 飲酒習慣のある者の割合は、緩やかな減少傾向にあるが、適正飲酒に向けて過剰摂取者へのアプローチが必要。

●野菜の摂取量が少なく、減少傾向

- 野菜類摂取量は、全国平均の90%程度で緩やかな減少傾向にある。
- 大阪では、摂取量が350gに満たない人が75%以上。

◆生活習慣病

- 健康寿命が男女とも全国平均より低い。

●脳卒中

- 血圧は、高齢になるにつれて、全国平均より高い状況。
- 要介護認定率が極めて高く、その原因疾患の1位は脳卒中。

●虚血性心疾患

- 年齢調整死亡率が男女とも全国平均より高い。
- 受療率は入院・外来とも全国平均より高い。
- 男性の急性心筋梗塞の発生率の増加。

●糖尿病

- HbA1cが全国と比べて高く、高齢になると、その傾向が強くなる（特に8.0%以上の人が多い）。

●肥満

- 男性のBMIが上昇傾向にある（女性については低下）。

疾病

◆目的(明らかにするもの)

- ①年齢階級別・性別の状況及び経年的な変化
- ②ライフスタイルによる影響

◆手法

調査内容

- ①国民健康栄養調査項目
- ②大阪府独自アンケート・BDHQ

調査対象

- ①国民健康栄養調査結果3年分（3年移動平均）
- ②23単位区（国民健康栄養調査対象）+54単位区（上乗せ）+高校生